

令和6年度 こども園（保育園）関係者評価  
園評価・評価委員最終評価シート  
子育てセンターやまびこ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価  
評価日時： 令和 7年 2月 4日 9:30～ 11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自然大好き、友だち大好き、生き生き遊ぶ子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

「感謝の気持ち・自己肯定感の持てる子を育む」～環境を通し、みんなで育ちあう～

子どもたちが豊かな自然環境の中で五感を感じ、自分で考え、試せるような教育、保育を展開していく。子どもとともに成長する園作りを目指すために一人ひとりが専門職としての自覚を持ち、さらなる向上に努めていく。学ぶ専門分野(遊び・食育・発達支援)を決め、検討・実施をしていく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"><li>園内において誰もが見えるところにグランドデザインを掲示して、常に意識し再確認することが出来ている。</li><li>今年度は、職員一人ひとりが重点目標を意識して取り組むことができていた。</li></ul>	4	<ul style="list-style-type: none"><li>組織的かつ一貫性がある。</li><li>クラス懇談会において、具体的な取り組みについて話してくれており、浸透してきている。</li><li>継続的に進めて欲しい。</li></ul>
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	<ul style="list-style-type: none"><li>指導計画の作成の際、計画・実践・反省の流れができていた。</li><li>クラスカンファレンスの際に、月案の振り返りを行い、次の月の計画に繋げることができた。</li><li>保育を計画して実践できていたが、活動後振り返りをして、他の活動へ繋げたり、教育・保育を展開したりすることが十分ではなかった。</li></ul>	3	<ul style="list-style-type: none"><li>活動の充実を図るための振り返りに、さらに力を入れて欲しい。</li><li>子どもを預かり命を守る気が抜けない仕事であるが、忙しい中でも計画を立てて活動を行い、振り返りをしてくれている。</li></ul>

<p><b>Ⅲ. 子どもにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. その子らしさが認められる</li> <li>2. ゆったりとした生活</li> <li>3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ</li> <li>4. いろいろな人の中で自分を知る</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子らしさを認めることができていた。</li> <li>・子ども一人一人の個性を受け止め、見守ることができていた。</li> <li>・「十分に」という点では、遊びを広げる環境を整えたり、次につなげる連続性のある遊びへと展開する部分では課題が見られる。</li> <li>・自然に囲まれた環境の中で、身近に植物や生き物がいて、見たり触れたり捕まえたりすることができるが、生き物を大切にすることや興味を示すこと、図鑑で調べるなど教育・保育を展開するという点では課題が見られる。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差はあるが、自然豊かな環境の中で、自然を生かした保育ができています。</li> <li>・散歩先で拾ったものを家庭に持ち帰った後、工作したり大切にしたりして。</li> <li>・園での活動が、家庭の遊びにも繋がっている。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に保護者との相談時間を設け、子どもの育ちや悩みを共有する対応をした。</li> <li>・送迎時にこまめに話をしたり、相談に乗ったりしながら、子どもの成長を共有できた。</li> <li>・利用者満足度調査のご意見をうけて、職員が声掛けを意識できる仕組みを作り、実践してきたことを考慮すると、1年を通しての職員の声掛けは十分ではなかった。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部保護者からのご意見はあるが、成果は上がっているし、大多数の保護者からの評価は高い。</li> <li>・保護者は、子育ての不安を抱えている一方で、保育者と話す中で成長を喜び、安心して預けられているように感じる。</li> <li>・担任だけでなく、いろいろな保育者が見ていると感じる。(園の職員みんなで見ている。) )</li> <li>・多様な保護者への対応が課題だと感じる。</li> </ul>
<p><b>Ⅴ. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生のボランティアや実習生、職業体験の受け入れなどを通して、地域の方が訪問しやすい雰囲気作りができていた。</li> <li>・支援ひろばの取り組みで、地域の子どもたちが関われる場所として、園の取り組みができていていると感じる。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ひろばが、地域へ出向いて行っている。(出張ひろばだけでなく、地域で行っている広場へも)</li> <li>・利用回数の少ない親子でも覚えていて、他で会った時でも声を掛けてくれるという声を聞いた。</li> </ul>
<p><b>Ⅵ. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が活かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士がコミュニケーションをとり、働きやすい職場であると感じている。</li> <li>・常に気持ちの良い挨拶や報告・連絡・相談を心掛けた。</li> <li>・各クラスのカンファレンスを定期的に行っているが毎月できていないクラスもあり、職員間で子どもの育ちや教育・保育していく上での悩みなどの共有が十分ではなかった。</li> <li>・重点目標の取り組みで職員一人ひとりが意識向上のために学びを深めてきたが継続的な学びや課題への取り組みが必要と感じる。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のシフトが違うなどの理由から、話し合いの時間を設けるのが難しい中、工夫をして研修を重ね、その成果を子どもに返している。</li> <li>・グループでの話し合いなどを通して、職員が相談し合える場があることで安心につながる。</li> <li>・意識が高まっている。</li> <li>・今後の課題としては、業務改善との両立を図って欲しい。</li> </ul>